

青少年の体験活動の推進

(新 規)

平成23年度要求額 124,143千円

課題

◆現状

- 青少年をめぐる様々な問題（ニート、ひきこもり、不登校など）
- 青少年の意欲やコミュニケーション能力、規範意識等の低下

◆原因

- 直接体験の不足（体を動かす体験、自然体験）
 - 「大きな木に登ったことがほとんどない子ども」
H10:43%→H21:52%
 - 「キャンプをほとんどしたことがない子ども」
H10:38%→H21:57%
- 生活習慣の乱れ（夜更かし、朝食欠食）
- 希薄な対人関係（保護者の関与が少ない、地域の大人の関与が少ない、仲間との接触が少ない）

要旨

青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求めていくための普及啓発に取り組むとともに、体験活動やその指導者、活動の場の在り方に関する調査研究等を実施

背景

○子ども・若者ビジョン（H22.7.23）

- ◇子ども・若者が生き生きと、幸せに生きていく力を身につけるための取組（重点課題）
 - ・社会参加・体験活動等能動的な活動の充実

○教育振興基本計画（H20.7.1閣議決定）

- ◇放課後や週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり
- ◇体験活動等の推進（特に重点的に取り組む事項）

- 子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い（H22.5 子どもの体験活動の実態に関する調査研究（中間報告）独立行政法人国立青少年教育振興機構）
 - ・子どもの頃に「自然体験」や「友だちとの遊び」などの体験が豊富な人ほど、「もっと深く学んでみたい」といった意欲・関心、「電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆする」といった規範意識、「社会や人のためになる仕事をしたい」といった職業意識が高くなる傾向がみられた。

体験活動推進プロジェクト

① 全国的な普及啓発の実施

- 家庭や企業などへ体験活動の理解を求めていくための普及啓発を実施【3件】
 - ア 青少年の体験活動の必要性・重要性を広く家庭や社会に発信する。
 - イ 青少年の体験活動の推進に寄与する団体間の連携を図る。
 - ウ 民間企業等と連携し、青少年の様々な課題に対応した体験活動の機会を提供する。

② 「体験力」（体験活動により身につく力）を認定する制度に関する調査研究

- 青少年にとってより実効性のある体験活動を支援するために、体験活動の体系化と発達段階に応じた望ましい体験活動の在り方について調査研究を実施【1件】

③ 体験活動指導者の社会的な位置づけを確立させるための調査研究

- 体験活動指導者の社会的な位置づけを確立させるため、体験活動指導者の資格制度について調査研究を実施

④ 自然体験活動指導者養成事業

- 自然体験活動の教育効果を高めるとともに、青少年が安全で安心な体験活動を行えるよう、その指導者を養成することにより、青少年の自然体験活動を推進【25件】

体験活動の推進に資する施設の在り方に関する調査研究協力者会議

我が国の青少年の体験活動を一層推進するため、その活動の場として中心となる青少年教育施設のあるべき姿や適正な配置についての調査研究会議を実施

「体験力」を就職活動や進学等のアピール材料に！ ・ 家族で体験活動を楽しむライフスタイルに変革！

地域や家庭、企業の取組を促進し、青少年の体験活動を一層推進